



東京事務所外観



概要の説明を聞く



1階店内の様子

近年、少子・高齢化が進んだことにより、人口が減少しているなかで、地方から東京へ人口が流出する「一極集中」が続いている。

一方、地方の農業は後継者不足が深刻化しており、市ではこれらの問題に対応すべく、平成31年4月、東京都新宿区神楽坂に東京事務所を開設した。さらに7月7日には、当市の特産品でブランド農産物となっているメロンをPRするため、東京事務所内にアンテナショップ「果房メロンとロマン」をオープンすることから、オープンの前日（7月6日）に議員全員で視察を行った。

この施設は1階がメロンとその加工品を販売するショップ、2階はこれらの商品がイートインできるカフェ（約20席）のスペースとなっており、3階は事務所として職員が常駐し、つがる市をPRするため、情報の発信と収集を行っている。

東京事務所では、つがる市へ移住を希望する者や企業を誘致することが主な業務となり、アンテナショップはメロンに



特化した、他に例のない専門工房でサンドイッチやかき氷、ドリンク類などを提供する。

この施設が、情報発信の拠点となってつがる市およびメロンが全国に広く発信され、知名度アップにつながることを期待する。



こちら編集室

初夏のさわやかな風が吹き、あじさいなど様々な花が咲き乱れる季節となりました。

つがる市は少子高齢化、東京一極集中などにより人口が減り続ける状況になっています。山里へ行くと休耕の田畑が多く見受けられ、高齢者は免許証の返納を求められ、路線バスはなくなる。困ったものです。

これらの問題には頭を悩ませるところですが、人口減少が進んでも皆が地域で暮らしていけるようなまちづくりを考え、政策立案していくのが市議会議員の務めだと思っております。そのために、日々精進したいと考えています。

さて、近所に幼稚園ができました。園児たちの可愛い明るい元気な様子を見ると元気をもらいます。子どもたちの声によって自分たちも幸せな気持ちになります（感謝）。

（副委員長 記）

市議会だより

編集委員会

委員長 長谷川 榮子

副委員長 伊藤 良二

委員 佐々木 直光

委員 野呂 司

委員 齊藤 渡

委員 秋田谷 建幸